

2020年8月31日

一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会 御中

一般社団法人日本プロ野球選手会

---

「野球がしてみたい！」をあきらめないで  
現役プロ野球選手の想いが込められたプロジェクトがいよいよ始動  
**一般社団法人日本プロ野球選手会 野球振興事業**  
**「ドリームキャッチプロジェクト」支援対象児童募集開始のお知らせ**

---

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

一般社団法人日本プロ野球選手会（理事長：松田宣浩 福岡ソフトバンクホークス）では、かねてから実施内容の検討を重ねてまいりました、児童向け野球振興事業の「ドリームキャッチプロジェクト」の支援対象児童の公募を開始する運びとなりましたので、ここにお知らせいたします。

当会では、野球の競技人口が大きく減少している現状を少しでも改善するために、現役プロ野球選手の視点を交えての協議を重ねておりますが、本プロジェクトは、野球用具の支援をきっかけにして、経済的事情により興味があっても野球をプレーすることをあきらめざるを得ない子どもを応援できないかという選手の声から生まれたものです。

プロジェクト名は、事前にツイッターで一般公募していた候補から、去る6月にオンラインで実施した選手会理事会に出席した12球団代表選手の投票により「ドリームキャッチプロジェクト」と決定しました。

募集に関する情報は、2020年9月1日より選手会公式ホームページ(<http://jpbpa.net/dream/>)に掲載されます。関係者の皆様におかれましては、趣旨をご理解の上、告知等を通じ、広くご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

事業名：「ドリームキャッチプロジェクト」

内容：野球をプレーしたことのないひとり親家庭や児童養護施設の児童を対象とし、

【1】バット・グラブ・シューズ等の提供

【2】年間3万円の支給×3年間の奨励金の提供

募集人数：24名（2021年4月に小学校4年生となる生徒）

応募方法：選手会ホームページ内に記載（<http://jpbpa.net/dream/>）

募集期間：2020年9月1日（火）～2020年10月30日（金）

<一般社団法人日本プロ野球選手会 理事長 松田宣浩コメント>

プロに入って十数年になりますが、振り返っていつも思うのは「野球は一人ではできない」ということ。グラウンドに立つ仲間、試合を支えてくれるスタッフの方々の存在があってこそ自分はプロ野球選手でいられるのです。

さらに言えば「野球がしたい」と思った日からの 30 年以上の年月で、いったいどれだけたくさんの人との出会いに助けられてきたのか。野球を続けてこられたことへの感謝の気持ちは、いつも思い浮かぶ沢山の方々の顔とともにあります。

「好きなことに思い切り打ち込みたい」という自然な気持ちは、人にとってとても大切なこと。

私たち日本プロ野球選手会がはじめる「ドリームキャッチプロジェクト」は、チャレンジする前にさまざまな理由から、それを諦めなければならない環境にある子どもたちを、少しでも助けたいという選手たちの想いから生まれました。

夢に向かっていくには、まずスタートラインに立たなければなりません。そこに立った一人ひとりからどんな物語が生まれるのか楽しみです。

そして、これからも想いを同じくする選手や企業の方々と、このプロジェクトを大きなものにしていきたいと思います。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

日本プロ野球選手会事務局：加藤（090-5758-4749）